

平成29年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(文化施設6件)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、平成29年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の履行状況、安全管理、法令遵守、サービスの利用状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等を評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、生活文化局が一次評価を行い、外部委員を含む評価委員会の評価を経て、最終的な評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準(4段階)

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A ⁺	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
A	管理運営が良好であった施設
B	管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙1のとおり。

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	東京都江戸東京博物館等6施設	外部委員7名(文化事業関係者1名、美術館・博物館関係者2名、ホール関係者2名、公認会計士1名、施設サービス評価専門委員1名) 内部委員1名(東京都職員)

評価委員会委員の氏名については別紙2のとおり。

(3) 評価結果

	S	A ⁺	A	B	計
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	2施設	4施設	0施設	0施設	6施設

各施設の評価は別紙3のとおり。

[問い合わせ先]
生活文化局文化振興部企画調整課
電話 03-5388-3158

評価の観点

項目	細項目	内容
管理状況	適切な管理の履行	○協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか ・業務の履行（清掃・巡回の回数など）は適切か ・人員配置は適切か ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など
	安全性の確保	○施設の安全性は確保されているか ・施設の安全性は確保されているか ・事業者の責に帰す事故が発生したか など
	法令等の遵守	○個人情報保護、報告等は適切に行われているか ・個人情報保護は適切に行われているか ・情報公開は適切に行われているか ・都への報告は適時、適切にされているか など
	適切な財務・財産管理	○適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など
事業効果	事業の取組	○事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の企画、実施、成果は計画どおりか など
	利用の状況	○事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者数は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因を考慮） など
	利用者の反応	○利用者の満足を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か など
	行政目的の達成	○行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の目的を達成しているか、 ・都及び関係機関等との連携が適切に行われているか など

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
東京都江戸東京博物館外5 施設指定管理者評価委員会	太下 義之	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 独立行政法人国立美術館理事 日本文化政策学会理事
	草加 叔也	有限会社空間創造研究所 代表
	箕口 一美	東京藝術大学大学院 講師
	新畑 泰秀	石橋財団ブリヂストン美術館 学芸課長
	小島 道裕	国立歴史民俗博物館 教授
	茶田 佳世子	公認会計士
	池田 伸之	株式会社JTB 東京交流創造事業部長
	工藤 穰治	東京都生活文化局文化施設改革担当部長

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 施設サービスに関する取組が様々な点で優れている。 東京都で実施のホール等の改修工事について、大規模な施設であるにも関わらず、迅速に対応している。 事業収益と費用のバランスが保たれ、正味財産も着実に増加している。
	財務の状況	◎	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、研究、展示、教育普及の基本的なサイクルが順調に機能していると認められ、検索機能の改善など利用者の便宜の向上も見られる。 教育普及活動においては、高度な調査研究を分かりやすく伝える努力がなされている。 新たに「360度パノラマビュー」やPR映像を作成し、積極的な広報活動を展開した。
	運営の実施状況	◎	
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> 入館者の目標を本館、たてもの園共に達成していることは、運営努力の結果として評価できる。 膨大な所蔵品を効果的に来館者に伝える事業展開を実施している。

[評価基準]各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	地域に根差した博物館として、また首都の博物館として、高い水準を維持し、リニューアル等の改善に向けた努力も行われている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	コレクションの質は非常に高く、今後国際的な交流も含め、国内外での更なる活用が期待される。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		A+	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、施設設備等は堅実に管理されている。 展示室出入り口の段差対策が十分でなかった。 助成などによる外部資金の獲得、支援会員制度による自己資金の拡充の努力は、評価できる。
	財務の状況	◎	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 写真の専門館としての多様な展覧会の展開は、他に類を見ない点で重要性を見出すことができる。 地道な調査研究を踏まえて、九州の豪雨で被災した写真資料の保存に貢献したことは素晴らしい社会貢献である。 「視覚障がい者をつくる美術鑑賞ワークショップ」は、障がい者差別解消法が施行された今日、とても重要な取組である。 「記者懇談会」は、メディアとの関係性の構築において良い仕組みである。
	運営の実施状況	○	
方針と目標の達成状況		○	コレクションを有効に使い、専門性の高いものから親しみやすいものまで幅広いラインナップの企画を実施している。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	展覧会もさることながら、保存・修復についての先進的な取組は表立って見えないところではあるが、評価に値する。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	専門的な関心を持つ層に対して、好評であるだけでなく、それ以外の層からも関心を持たれるような更なる工夫が期待される。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		A+	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ・休館中の館外活動、特に地域連携の企画運営については、成果を挙げている。 ・MOTサテライトへの協賛金、助成金を獲得し、事業に活用している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修中で館での展示を行えない中、サテライト展や教育普及事業を工夫して行い、対象者の拡大を図ったことは評価できる。 ・教育普及活動において、「アーティストの1日学校訪問」や小笠原小学校との文通による連携授業など、他に例を見ないユニークな企画が実施され、十分な成果を生み出している。 ・休館中の広報について、twitter等ネット活用を着実に進め、工事中のフェンス利用等に積極的な試みと成果を見出すことができる。
	運営の実施状況	○	
方針と目標の達成状況		○	休館中の館外事業において目標値を超える結果となったことは、評価される。リニューアルオープンを目指して、順調かつ堅調な準備が行われている。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	閉館時ならでの教育普及等の事業展開とその成果は大いに評価される。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	リニューアルオープン後の事業の準備はもとより、期待を膨らませる広報戦略が必要である。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備等は堅実に管理されている。 事業収益と費用のバランスが保たれている。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 公募展、特別展、企画展とバランスのとれた展覧会運営がなされている。特に、特別展においては、国内有数の大規模展を定期的かつ安定的に開催している。 自主企画による企画展は、独自性を打ち出したこの館ならではの特色あるものとなっている。また、開催した企画により、作家が「芸術選奨文部科学大臣賞」を受賞した。 「とびらプロジェクト」等により、「地域創造大賞総務大臣賞」を授与されたことは素晴らしい結果であり、さらなる発展が望まれる。 広報活動においては、ウェブサイト、ツイッターなどのアクセス、フォロワーが飛躍的に伸びているところに運営の努力が窺える。
	運営の実施状況	◎	
方針と目標の達成状況		◎	美術館としてのしっかりした基本方針に基づき、事業が着実に実施されている。入館者の目標を大きく上回り、満足度も高いことは評価できる。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	企画展と教育普及プログラムが充実しており、受賞するなど社会的にも高い評価を受けている。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> 「とびらプロジェクト」において、アート・コミュニケーターと任期満了後も連携を続けるなど、育成した人材を活かした更なる展開が期待される。 企画展や教育普及プログラム等について、積極的な広報による更なるアピールが期待される。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		A+	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの課題に対して、ハード面での整備頼みに陥らずに、ソフト面でも臨機応変に対応している。 ・文化庁からの補助金、外郭団体からの助成金、協賛金を獲得し、活用している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業を中心とした創造・発信、育成・支援、次世代への投資の取組は、ターゲット層への目配りが効いた内容になっている。 ・東京2020大会に向けて気運醸成が高まる中での、国際連携を図る共同制作は時機にかなった好企画である。 ・未就学児から大人まで幅広い対象が参加できるワークショップや、子供たちが活躍できる舞台の提供など参加型の事業を実践している。 ・東京音楽コンクールの参加者数、鑑賞者数の増加は、大いに期待されている証である。
	運営の実施状況	◎	
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・首都東京の公共ホールとして音楽の裾野の拡大や舞台芸術水準の向上において貢献している。 ・館の管理、事業及び運営は事業計画の基本方針に沿って適切に行われている。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	カーザ・ダ・ムジカとの連携によるワークショップ実施は、ワークショップリーダー育成と有機的に繋がっており、「上野育ち」のリーダーたちが実施するプログラムを生み出している。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	音楽資料室の運用について、音楽関連蔵書や資料のアーカイブとしての貴重さと特性のアピールを強化していく必要がある。また、アーカイブ利用者数の向上については、インターネットを活用した取組が期待される。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成29年4月1日～平成33年3月31日
評価対象年度	平成29年度

項目		評価内容	
総合評価		A+	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 特に舞台技術に関して、始業ミーティングや日常点検の実施等を積極的に行うなど施設の安全性に十分な配慮を行っている。 劇場周辺で行われる催し物等に協力し、地域との関係性を高める努力を行っている。 文化庁からの補助金、協賛金を獲得し、活用している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 演劇、ダンス事業について、芸術監督制のメリットが活かされた「目利き」と「創造の最前線への目配り」が感じられる。 コンサートホールは、クラシック音楽上演に特化された機能性を活かした運営がなされており、現代音楽等の普及に資する「Born Creative Festival」等優れた公演が実現できた。 海外の演出家を招聘した「ハムレット」や「リチャード三世」など優れた公演が実現できた。
	運営の実施状況	◎	
方針と目標の達成状況		◎	優れた企画に基づく事業を実施しながら、施設管理も適切に行っており、企画、運営両面で日本を代表する複合施設であることを証明している。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が概ね110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した4段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A+」…管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	パフォーミングアーツ拠点として、公演施設を十分に活用した事業展開が実現されており、発信力を備えた名実ともに日本を代表する「劇場」である。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	シアターとコンサートホールの両方を持つ芸術劇場の存在価値の都民への更なるアピール、大都市文化交流の推進、地域との連携強化等への一層の努力が期待される。